



スローサーカスプロジェクト公演「tookyoo」虫のいい話」
Ryohei Tomita

30代で骨肉腫に
癌サバイバーとなる

東京でオリンピックが開催されることも決まっていよいよ中、東京造形大学への進学を決めた。数千人のキャストを使ってスケールの大きなショーを作ることに役立つ進学先はどうか考えた時にマッチしたのが比較造形専攻造形振興コースでした。」

卒業後は校友会の留学期学生としてイタリアのドムスカデミー大学大学院でシネマデザインを学んだ。帰国後は結婚妻有トリエンナーレなどで市民参加型のパフォーマンス作品を作ってきた。全てはオリンピックの開会式を演出したいという夢を叶えるために手当たり次第努力を続けていたが、その矢先に右膝に痛みを覚え骨肉腫がみつかった。30代で3回の手術と8回の抗がん剤治療を経て退院したが右足の機能を失った。病気で価値観が180度変わりました。それまではオリンピックという明確な目標に向かって、人に評価されなくても無理を



エアリアル
Takaki Sudo



まるイロワークショップ
427FOTO



ソーシャルサーカス ワークショップ
427FOTO

お互いの力を引き出し
インフラメンタは

それからは、東京パラリンピックを視野に入れてヨコハマ・パトリエンナーレを開催し、障害者と共に舞台を作るインフラメンタに着手した。栗栖が考案開発した「アカンバリスト」とアクセスコーディネーター」は東京パラリンピックの開会式でも活躍した。アカンバリストは伴奏者として障害のある演者と、一緒にパフォーマンスに出て、何か危険なことはいか、困っている人はいないか舞台上でサポートします。アクセスコーディネーターは出演せず、リハサルに参加するまでに障害のある人が抱える物理的な問題を精神的な問題を取り除くための調整をします。二つのスペシャリストが舞台の中と外で安全を見守る仕組みをつくりました。」

エンターテイメントの
景色を変えるために
日常の景色も変わっていく

10代からの目標であった平和の祭典の開会式演出を経て、やっと演出家としてスタート地点に立てたと思った。これから先10年でエンターテイメントの景色を変えたい。欧米では学園ドラマのいち生徒役に車椅子ユーザーの生徒がいるように、多様な人が当たり前にいる風景に近づけて持っていきたいかが私の次の目標です」

昨年年末の紅白歌合戦マッケンサンバを盛り上げるダンサーに多様な人をキャストイングできたのは日常の風景を変える大きな一歩だった。

多様性のある社会をいかにするためにアートが果たせる役割は大きいと考え、同時に常識に囚われない視点を持つアーティストとアートを学んだ人が、美術館やギャラリーから出て自身のアートの思考やスキルをもっと社会で活かしてほしいとも思っている。



ヨコハマ・パトリエンナーレ2017
Ken Kato



32期 栗栖 良依

美術学科
比較造形専攻

2021年8月24日、東京パラリンピック開会式、コロナ禍で1年の延期開催自体に賛否が問われた集例の大会だったが開会式での年代、性別、障害の有無も異なる人々がそれぞれの特技や個性を活かしたパフォーマンスに共感の声が多く上がった。スティージアドバイザーをつとめた栗栖良依は小・中高とカトリック系列の私立校に通う中で、環境問題や難民問題について考える機会が多く、将来は平和活動に従事したいと考えていた。同時にダンスや舞台創作などクラスを巻き込んで作りあげるパフォーマンスの面白さに夢中になっていく。平和活動につながる身体表現とは何か模索する中で高校1年の時にリレハンメル冬季オリンピックの開会式をみて、平和の祭典、オリンピックの開会式を演出したいと目標を定めた。

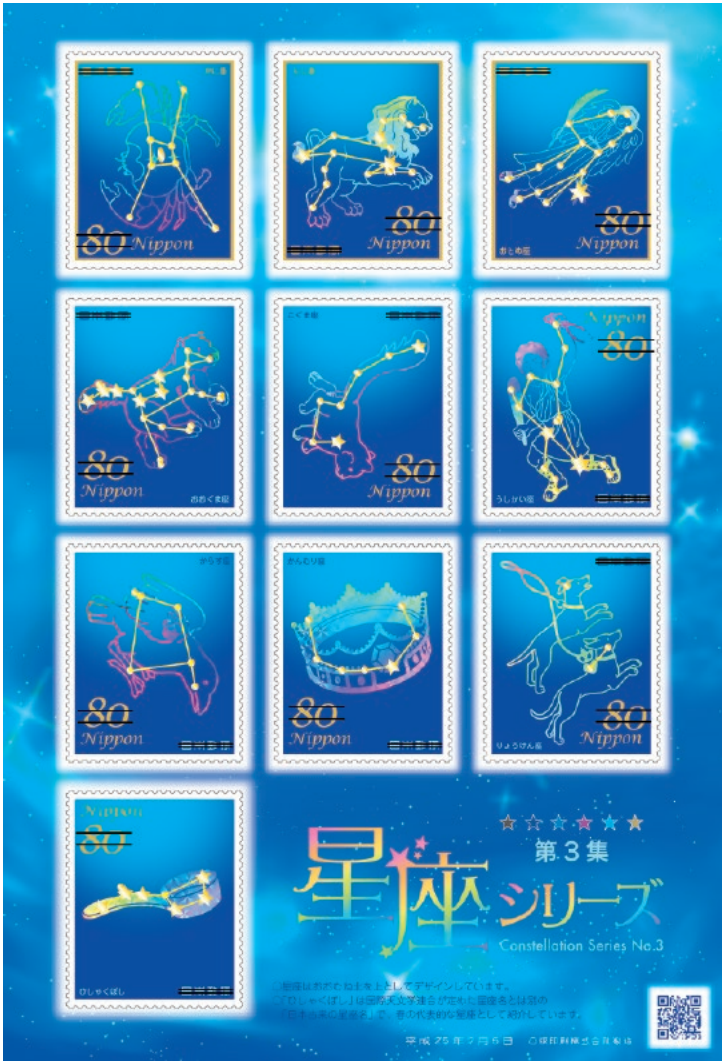


ソーシャルサーカス ワークショップ
427FOTO

障害者をつくる
パフォーマンス・アーツの世界

自身が障害者となり夢を諦めた時に、スバイラル・ラ・コルアートセンターの松田朋香氏から障害者施設にアーティストを派遣して物を作るプロジェクト、現在のNPO法人スローレーベルの前身のディレクターをやらないか声をかけられた。出来ること、特徴がそれぞれ違う障害者もものづくりをしていく中で、彼らの可能性をより生かす為には、ものづくりではなく、パフォーマンスやアートプロジェクトだと気がつき障害のある人とパフォーマンスを作ることに活動シフトしていった。同時に退院から2年が経ち5年生存率が上がるのと比例して未来をみるこができるようになった頃、ロンドンパラリンピックの開会式を見て、パラリンピックの開会式を演出したいと目標を改めた。

栗栖良依（くりすよしえ）
1977年 東京生まれ
2001年 美術学科 比較造形専攻 造形振興コース卒業
2006年 ドムスカデミー ビジネスデザイン修士号取得
2009年 結婚妻有アートトリエンナーレにて「しゃったあず」発表
2011年 「横浜ランデグープロジェクト/ SLOW LABEL」ディレクターに就任
神山アーティストインレジデンス特別招待作品「神山鹿鹿家山」発表
2014年 SLOW LABELをNPO法人化し、理事長に就任
ヨコハマ・パトリエンナーレ2014 総合ディレクター
道後オンセナート2014にて「ゆだまん」発表
2015年 障害者の舞台芸術におけるアクセシビリティの研究開発の開始
2016年 リオパラリンピック開会式・旗引継式 ステージアドバイザー
第65回横浜文化賞「文化・芸術奨励賞」受賞
タイムアウト東京 LOVE TOKYO AWARDS 2016 Face of TOKYO受賞
2017年 ヨコハマ・パトリエンナーレ2017 総合ディレクター
2019年 日本初のソーシャルサーカスカンパニー「SLOW CIRCUS」設立
2020年 ヨコハマ・パトリエンナーレ2020 総合ディレクター
ミラクル株式会社 設立
2021年 東京2020パラリンピック大会開会式 ステージアドバイザー
第72回NHK紅白歌合戦「マッケンサンバ」キャスト



日本の星座も加えた「星座シリーズ 第3集」2013年7月5日発行。



2003年（左）と2015年（右）の年賀状。12年掛けて福み物を作成させた羊が話題を呼んだ。



アイシングクッキーも栗山さん自身の手作りで、「冬のグリーティング」2014年11月7日発行。



オリジナルのホログラム箔を使用した「南極・北極の極地保護」2009年6月30日発行。

やりたい事が明確な人に向く大学

美術系の大学に進学した理由は、もともと出版系や絵を書く仕事に携わりたいなと思っていただけです。絵本作家などを考えていたんですけど、その延長で段々印刷そのものをやりたいと思うようになって、大学では印刷ゼミにいました。

東京造形大学で良かったと思うのは、授業が全部選択制だった事です。例えば工房に入り浸ってずっと何か作っている人もいましたし、目標が定まっている人、やりたい事を

明確に持っている人にとってはすごく良い環境だったと思います。

日本郵便に入社

大学4年の夏に就職課の掲示版に郵政省からの募集があったんですけど、当時は切手デザイナーという言葉はなくて芸芸官と呼ばれていました。大学生には想像が付きにくい方ではなくて芸芸官かと思ったくらいですから。友達が一切手のデザイナーを募集している、と言ってくれて、そんな仕事があるんだと

切手というのは1年の計画が前準備の時間と手間を掛ける切手

切手というのは1年の計画が前準備の時間と手間を掛ける切手

ウィットのあるものを作りたい

日本の秋頃に決まるのですが、その前に特殊切手と呼ばれるものは発行から逆算して1年半から2年前前に以前に各省庁に相談するんです。何か記念切手としてふさわしいイベントがあるかどうかを問い合わせをして、社内で精査した後、有識者会議に掛けて、どんな切手を出すのか計画が決まります。

切手は多くの人が使うものですから、不快感を与えてはいけなくて、使ってくれる方には、あたたかい気持ちになつて欲しい。これは常に思っています。クストと笑えるようなウィットを届けられたいですね。



「海のいきもの」シリーズ 第4集、2020年7月1日発行。



29期 星山 理佳

デザイン学科
デザイン1類

星山 理佳（ほしやま りや）
1998年 東京造形大学デザイン学科
デザイン1類卒業
1998年 郵政省（現：日本郵便株式会社）入省

びつくりしました。実際、切手デザイナーの募集というのはなかなかいんです。またまだ欠員が出たので募集があったんです。卒業年が一年でも違っていたらこの仕事に出会う事はなかったと思う。これも一つの運命だと感じますね。

入省してから10年くらいして段々仕事の質が変わってきました。会社が民営化する、コンピュータが導入される、そういう背景があったわけですから、特殊切手やシリーズ切手、グリーティング切手は圧倒的に増えました。昔は切手って1シートが同じ絵柄が20枚、というようにずっと並んでいたのですが、最近1シートが10枚で全部絵柄が違ってもいいんです。それだけで仕事10倍増えていますよね。下端だった私も徐々に切手のデザインに関っていくようになってきました。

切手というのは1年の計画が前準備の時間と手間を掛ける切手

切手というのは1年の計画が前準備の時間と手間を掛ける切手

切手は多くの人が使うものですから、不快感を与えてはいけなくて、使ってくれる方には、あたたかい気持ちになつて欲しい。これは常に思っています。クストと笑えるようなウィットを届けられたいですね。



紙粘土のミニチュアも作る盛りよう。「和の食文化」シリーズ 第1集、2015年11月24日発行。



誌上個展
32期 栗栖 良依
比較造形専攻

お便りください
東京造形大学校友会事務局
E-mail : info@zokei.net
FAX : 042-637-3093

氏名
住所
電話・FAX
E-mail
卒業年次・専攻

■近況・会員情報提供

■住所等の変更をご連絡ください
(変更事項、変更前、変更後)
※変更の場合、下記個人情報の扱いに関しても確認のため
チェックしてください。
☐ 会員公開 ☐ 確認公開 ☐ 非公開

この状況が日常であるかのように不意に気づくとそう感じるようになりつつあるコロナ禍の中となって2回目の秋にも継続し「Laboratory of forest art」を開催した。呼称を変えながらも1997年から続いている。昨年度は初めてオンラインをメインとしたが、今年度は参加アーティスト全員がリアルな展示をメインとする事を希望した。しかしながらやはり未だ、コロナ禍以前



ASADA作品「森の籠」



制作中の高田氏



初日アートツアーとその撮影風景 原田氏作品にて



「森の小枝でモリモリ」ワークショップ参加中の子供達



オンラインアートツアー動画より

通りに海外アーティストを招待してのレジデンスや大々的な広報は控える事とし、作品のオンライン配信やsnsでの発信、ホームページの改良も引き続き積極的に行った。

2021年度の参加アーティストは複数年継続が6名＋継続2年目が2名＋数年振りが1名＋初が1名の合計10名であった。展覧会名「Laboratory of forest art」にもある様に森のアートの実験室をテーマとし、木々の生い茂る自然環境の中において、季節や気象条件、地理的条件、歴史的経緯等も作品成立のコンセプトの一部に取り入れ、森と対話し自然から多くを学び試行錯誤した中から新たな視点や手法を見つけ出して表現することを企画趣旨としているが、そこにさらに世界的なパンデミックという条件が加わりより過酷なものとなった感があった。過酷とは具体的に何処を指すのか？当然屋外の為天候による制作予定の変更を余儀なくされ、電気水道の設備無し、繁忙期のみ仮設トイレを設置、蚊蜂蛇が多数生息している、主な制作季である夏の猛暑、更に昨今の温暖化によると思われるナラ枯れが酷く倒木の危険が増大している、とあげればきりが無い。そんなこの

森の美術展の特徴としては複数年継続参加のアーティストが多いことが一つにある。森の整備にも力を注ぎ保全しながら通い続ける十数年参加のアーティストはこの森にやっと受容されているような、数年参加のアーティストはなんとなく行っている様な、初めてのアーティストは洗礼を受けている様なそれぞれの試行錯誤が今年も興味深かった。それでもなぜ継続するのかというと、自然が好きだから、森での実験的な試みが面白いくら、森に集う事と人が楽しいから、アーティストそれぞれだろうが、さらに複数年森に通う中でその過酷さと引き換えに手に入る森の包容力と何物にも縛られない自由さに魅力を感じ離れ難くもなるのかもかもしれない。また初参加の森の制作で翻弄された悔しさの後から込み上げる畏敬の念にまた足を運んでしまうのだろう（あっこれは全て参加9年目となった報告者ASADA自身の事だ）。2021年は正にそれを強く感じる年であった。屋内同様に感染対策は行ったが、森には3密はなく自身も自然の一部だと感じられる濃密（NO密）な時間があった。

集客関連では解説付きで作品をみて回る全6回のアートツアー

と4アーティストによる4回のワークショップは小人数で予定通り開催した。その4回のワークショップと初日のアートツアーと共に各アーティストの制作過程をオンラインでも公開したが閲覧数は昨年度より多く、実来場者数としても昨年度よりも増えていた。

鑑賞者も辺鄙な森に足を運んで下さり森の自然の中で森と対話し森ならではの作品を展示する美術展だからこその実作品の大切さと、逆光する様だが時代の変化の中で辺鄙な森のだからこそオンラインによる配信のもつ意味とがどちらが正しく良いという事ではなく共に重要だと理解出来た事が大きな収穫であった。

2021もこの森に感謝。

Laboratory of forest art
会期 2021年9月19日（日）～10月17日（日）
会場 横浜動物の森公園 里山ガーデン保全（よこはま動物園ズーラシア・里山ガーデン隣接の森）
校友会関係者 3名（高田芳樹 原田暁 ASADA）

>>From ZOKEI FRIENDS 事務局

映画「名付けようのない踊り」

本作は東京造形大学校友会会長である犬童一心（15期映画）が、世界的なダンサー田中泯を捉えたドキュメンタリー。

1978年のパリデビュー以来「場踊り」と呼ばれるどのジャンルにも属さない田中のダンスを「メゾン・ド・ヒミコ」（2005）への出演をきっかけに親交を重ねてきた犬童が2017年から2019年までポルトガル、パリ、東京、福島、広島、愛媛などで撮影。また田中の幼少期は米国アカデミー賞短編アニメーション部門に、日本人で初めてノミネートされた山村浩二（18期 絵画）によるアニメーションや*シネカリグラフィで表現された。

※フィルムに鉄筆で傷をつけてコマずつ作画する手法

「名付けようのない踊り」

2022年1月28日より全国ロードショー

監督 脚本 犬童一心

アニメーション 山村浩二

音楽 上野耕路

音響監督 ZAKYUMIKO

出演 田中泯、石原淋、中村達也、大友良英、

ライコー・フェリックス、松岡正剛

文化庁文化芸術振興費補助金

東京造形大学 アクティオ



©2021「名付けようのない踊り」製作委員会

I 募集人数

年間予算180万円を限度とした人数。

II 奨学金額

滞在期間が6ヶ月以上の場合一人60万円の奨学金贈与。

滞在期間が3ヶ月以上6ヶ月未満の場合一人40万円の奨学金贈与。

滞在期間が1ヶ月以上3ヶ月未満の場合一人20万円の奨学金贈与。

但し、他大学経由の場合、もしくは本学以外の組織・機関から応募する場合は奨学金額は4分の3となる

III 応募資格・条件

- 東京造形大学ならびに東京造形大学大学院を卒業後5年以内の校友会会員の方。
(第49期／2018年3月卒業～第53期／2022年3月卒業まで)
- 公的機関及びそれに準ずる留学の受け入れ先を証明できる方。
- 終了時に、下記のレポート、書類の提出を義務とします。
①留学（研究）レポート。
②在籍証明書、終了証明書等留学の事実を証明出来るもの。
(修学期間毎・5月31日提出締め切り)
- 上記1～3の項目を偽ったり、履行しない場合は奨学金の全額を返還していただく場合があります。
- 留学奨学生に選考された場合、日本国内に保証人をたてていただきます。

IV 選考

応募者は、次の書類・留学計画書（小論文）・作品のカラー写真をまとめて提出して下さい。

- 願書・履歴書（校友会の所定用紙による）。顔写真貼付のこと（5×4cm）。
- 留学先の受け入れを証明する書類（写し・推薦書可・様式は随時、和訳添付の事）。
- 東京造形大学教務部交付の卒業証明書・成績証明書。
- 留学について所定用紙に「1～3」の設問に沿って書き込んで下さい。
- 過去に制作した作品のカラー写真10枚以内。
・市販のクリアファイル（A4版）にファイルすること。
・ファイルの表紙に氏名を記入すること。
・ファイルの見開き1頁目、作品写真データ用紙（校友会所定のもの）を貼付けること。
・作品写真データ用紙No.と、ファイル各頁左上の通しNo.を対応委させること。

- ・各頁の余白に、氏名、作品名、作品のサイズ、制作年を明記すること。
- ・各写真の裏面にも氏名、作品名を明記すること。
- ・映像等の作品は、ビデオ、CD、DVD等での提出可。
※上記作品データに作品時間、制作年を明記すること。
No.を対応委させること。

V 選考方法

選考会は、校友会常務理事会による書類審査となります。また、選考会には必要に応じて会長、副会長が参加します。審査方法は、留学計画書、提出された作品写真またはデータ、受け入れ先の確認、在学中の成績等、総合的に評価し選考されます。

また、書類選考後、必要に応じて面接選考を行うことがあります。

VI 願書配付期間

2022年3月1日（火）～4月30日（土）

VII 応募受付期間

2022年5月6日（金）～5月27日（金）

VIII 願書受付期間応募先

〒192-0992

東京都八王子市宇津貫町1556

東京造形大学校友会事務局 宛

tel/fax（校友会事務局）

042-637-3093（月、水、金曜日9:00～17:00）

tel（大学代表）

042-637-8111（内線113）

e-mail：info@zokei.net

- 願書配付については、送料205円分の切手を同封の上、送付先を明記して郵送にて事務局に請求して下さい。
- 応募に関しては、郵送の場合は締切り日迄の消印を有効とし、「応募書類」朱書した書留郵便にして下さい。

IX 選考結果の発表

2022年6月10日（金）午前中、審査結果を応募者全員に電話連絡します（各自、確認の電話を入れても構いません）。その際、奨学生（確定者）に関しては、本人の確認と、留学の確認を再度させていただきます。

X 決定と手続き

本人の確認後、15日以内の所定手続き完了後、7月下旬に支給されます。奨学生の決定は会報誌で公示します。

常務理事会の動き

常務理事 長井 健太郎

2021年度の常務理事会は昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、メールによる書類確認及び意見収集を行い、話し合いが必要な場合はオンラインで開催することとしています。

2021年度 第3回常務理事会（オンライン開催）2021年10月20日

第3回常務理事会の第1議案として、「卒業生との関係構築について」に関し、校友会として検討を始めることとしました。これは、現在大学のリブランディングを担当している大学企画・広報課と校友会が、卒業生との繋ぎの重要性を共有したことを発端としています。今後、「ホームページの見直し」「会報誌の見直し」「卒業生向けイベントの開催」の3点について、検討を行います。

概要

11月26日(金)

四美大アラムナイ勉強会

ゲスト講師 美大愛好家 手羽イチロウ

テーマ 「美大の現状と強みを共有しよう」